

## 第三節 人口

### 一 人口の動向

昭和五十五年の国勢調査による和泊町の人口は、男四千八百八十人、女四千七百五十二人で総人口は八千九百三十二人である。(表16)

本町における人口の推移をみると、昭和十年ごろまでは一万二千人台を維持してきたが、昭和十二年の日華事変の戦争突入に伴い、兵役などのため人口は減少を続け、昭和十五年の調査では一万六百人台となり、その傾向は終戦まで続いた。終戦と同時に、復員や外地からの引き揚げ者あるいは本土からの帰郷者等があいつぎ、その結果青壮年層が増加し、本町の出生数も急増し、全国的な「ベビーブーム」時代に入り、人口は一万四千人台となった。しかし、当時は経済状況がきわめて困難な時期でも

あったので、沖縄の軍作業などに職を求めて転出する者が多く、奄美の本土復帰前の昭和二十八年には、再び一万六百人台にまで人口は減少している。

復帰後は、本土との交通の制約なども解除され、ある程度の人口流出はあったが、反面、国の復興事業などの実施によって本土からの建設業者などの転入があり、昭和三十年の国勢調査によると一万二千五百六十四人である。

ところが、昭和三十五年以後の我が国における高度経済成長期になると、都市の雇用需要の増大によって、出稼ぎが急増した。特に本町の場合は、阪神方面への転出者が著しく多く、人口は急激に減少して過疎化現象を呈し、昭和四十六年には過疎地域の指定を受けるに至った。昭和三十五年から昭和五十年の間に出稼ぎなどにより転出した人口は、三千六百六十六人で、約三十パーセントの減少である。

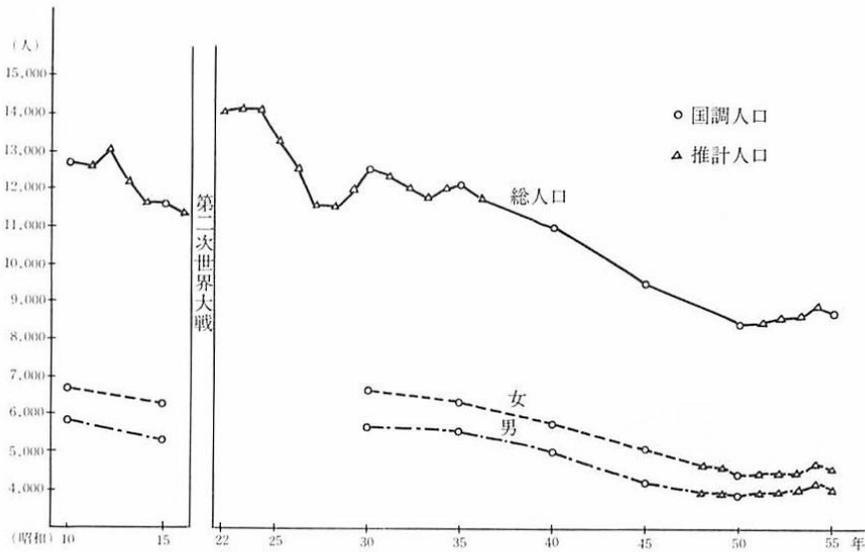
しかし、昭和三十年以後減少を続けていた人口も、昭和四十七年の「オイルショック」による本土経済の不況と郷土における農業の見直し、さらに、国や県の特別措置による交通基盤の整備や土地改良事業等、農業生産基

表 17. 人口の推移 (各年10月1日現在)

種別 年度	和 泊 町					奄 美 群 島				奄美に 対する 本町 人口 割合 (%)
	総世帯数 (戸)	総人口 (人)	男 (人)	女 (人)	人口密度 1km <sup>2</sup> 当り	総世帯数 (戸)	総人口 (人)	男 (人)	女 (人)	
昭和5年国調	2,561	12,404	5,728	6,676	301	43,993	204,062	94,102	109,960	6.07
昭和10年国調	2,706	12,715	5,945	6,770	309	44,569	200,973	92,695	108,278	6.32
昭和15年国調	2,540	11,642	5,383	6,259	282	41,377	181,495	83,477	98,018	6.41
昭和23年推計		14,198								
昭和30年国調	2,617	12,564	5,797	6,767	305	47,197	205,363	96,475	108,888	6.11
昭和35年国調	2,722	12,231	5,737	6,494	297	48,240	196,483	92,163	104,320	6.22
昭和40年国調	2,633	11,058	5,098	5,960	268	47,413	183,471	85,351	98,120	6.02
昭和45年国調	2,528	9,507	4,306	5,201	231	46,655	164,114	75,158	88,956	5.79
昭和48年推計	2,538	8,941	4,077	4,864	217	47,135	156,396	71,915	84,481	5.71
昭和49年推計	2,535	8,792	4,035	4,757	214	47,344	154,685	71,247	83,438	5.68
昭和50年国調	2,531	8,615	4,015	4,600	209	47,844	155,884	72,458	83,426	5.52
昭和51年推計	2,550	8,679	4,040	4,639	210	48,256	155,796	72,657	83,139	5.57
昭和52年国調	2,598	8,725	4,092	4,633	211	48,756	155,539	72,793	82,746	5.60
昭和53年国調	2,599	8,745	4,112	4,633	212	48,761	154,099	72,357	81,742	5.67
昭和54年国調	2,708	9,012	4,254	4,758	218	50,035	155,739	73,342	82,397	5.78
昭和55年国調	2,735	8,932	4,180	4,752	218	51,199	156,074	73,469	82,605	5.72

(資料) 第二次和泊町総合振興計画より

図17. 人口の推移



(資料) 「奄美群島の概況」, 「第二次和泊町総合振興計画」より

表 16. 和泊町人口の推移 (国勢調査)

種別	年度	昭5年	昭10年	昭15年	昭28年	昭25年	昭30年	
		国調	国調	国調	2月末	国調	国調	
総世帯数		2,561	2,706	2,540	2,675	2,617	2,722	
総人口		12,404	12,715	11,642	11,600	12,564	12,231	
男女別	男	5,728	5,945	5,383	5,088	5,797	5,737	
	女	6,676	6,770	6,259	6,512	6,767	6,494	
年齢階層別	15歳未満					4,806	4,905	
	15歳～64歳					6,506	5,967	
	65歳以上					1,252	1,359	
産業別人口動向	就業者総数					6,561	5,944	
	第一次産業					5,830	4,878	
	第一次産業計	農業					5,768	4,816
		うち65歳以上						
		林業					2	5
	漁業					60	57	
	第二次産業					130	327	
第三次産業					601	739		

昭40年 国調	昭45年 国調	昭50年 国調	昭55年 国調	増減率				
				昭35/30	昭40/35	昭45/40	昭50/45	昭55/50
2,633	2,528	2,513	2,735	4.0	△ 3.3	△ 4.0	0.1	8.1
11,058	9,507	8,615	8,932	△ 2.7	△ 9.6	△14.1	△ 9.4	3.7
5,098	4,306	4,015	4,180	△ 1.0	△11.1	△15.5	△ 6.8	4.5
5,960	5,201	4,600	4,752	△ 3.6	△ 8.2	△12.7	△11.6	2.9
4,118	2,977	2,182	2,100	2.1	△16.0	△27.7	△26.7	△ 3.8
5,575	5,237	5,089	5,292	△ 8.3	△ 6.6	△ 6.1	△ 2.8	4.0
1,365	1,293	1,344	1,540	8.5	0.4	△ 5.3	3.9	14.6
4,822	4,769	4,127	4,620	△ 9.4	△18.9	△ 1.1	△13.5	11.9
3,595	3,316	2,352	2,503	△16.3	△26.3	△ 7.8	△29.1	6.4
3,559	3,273	2,320	2,464	△16.5	△26.1	△ 8.0	△29.2	6.2
486	558	374	503			14.8	7.2	34.5
2	3	5	1	250	△60	50	△66.7	0
34	40	31	38	△ 5	△40.4	17.6	△22.5	22.6
326	445	591	655	251	△ 0.3	36.5	32.8	10.8
901	1,008	1,184	1,462	122.9	21.9	11.9	17.5	23.5

盤が充実してきた結果、若者たちのUターン現象が現れ始め、昭和五十年以降の人口は増加に転じてきている。

昭和五十年と比較して、昭和五十五年の人口は三百十七人で約三・六パーセントの増加である。(図17)

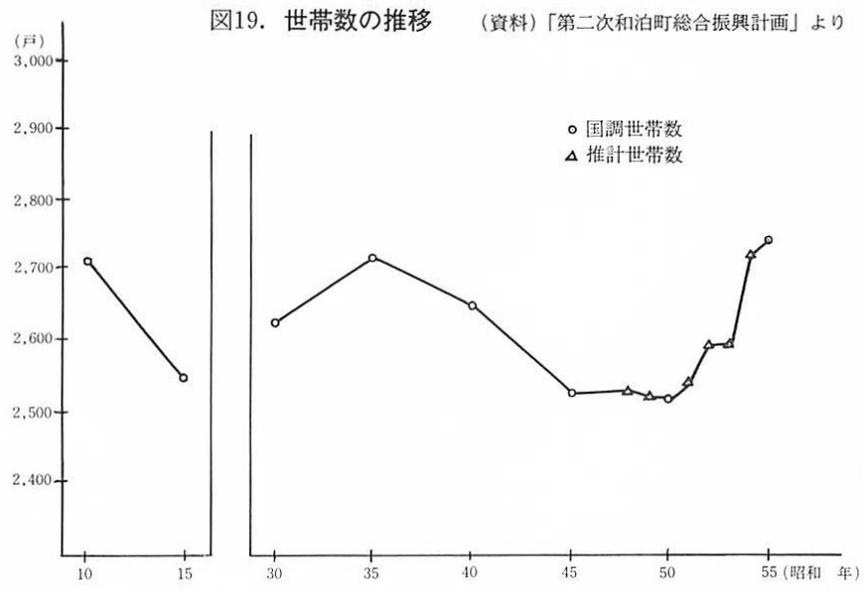


表20は、奄美群島(大島郡)における、各市町村別人口と年齢構成別人口を示した。

図20・21

また、隣接の知名町においても、人口・世帯数ともに和泊町とほぼ同じような傾向を示している。(表18・19、

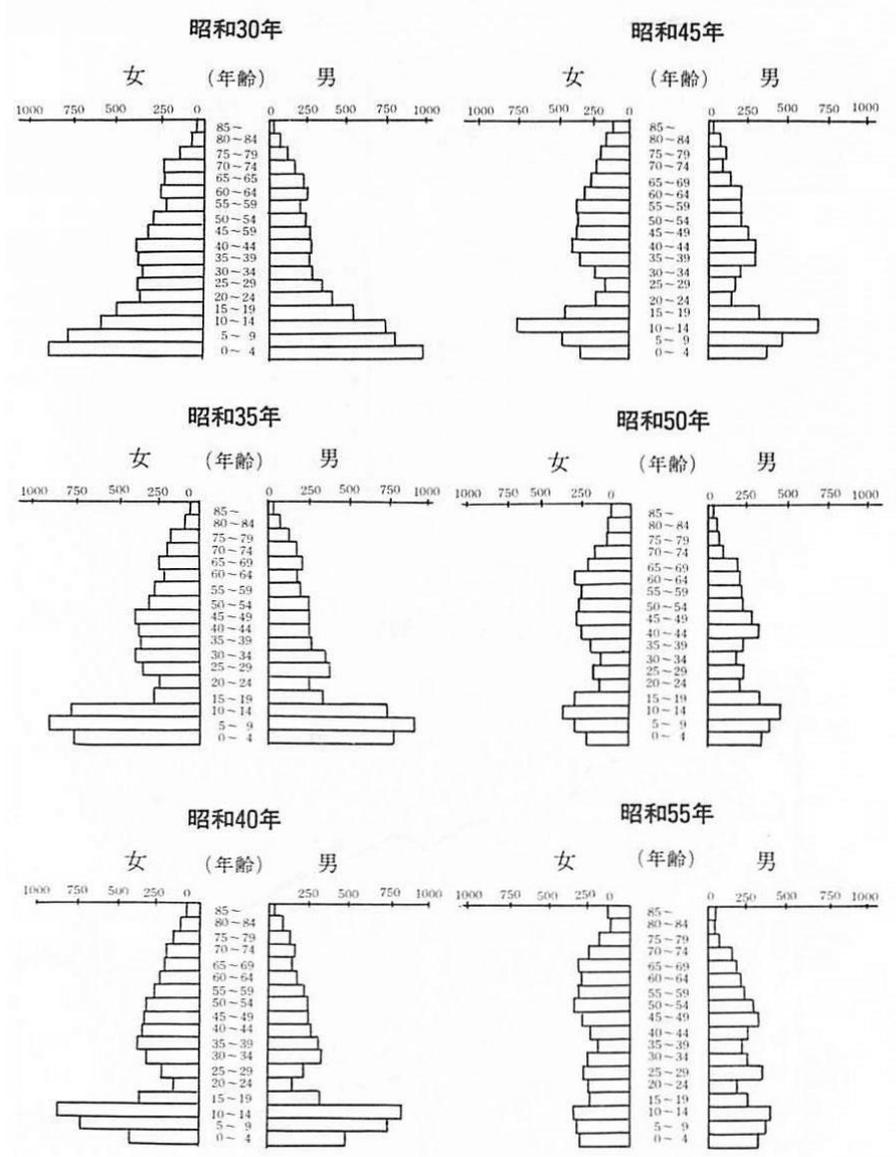
図19)

世帯数の推移についても、昭和三十年以降の人口流出に伴って大幅に減少を続けてきたが、昭和五十年以降は本町においても世帯の核家族化が進み、これが大きく影響して、世帯数は増加に転じてきている。現在、これまでに最高の世帯数となっており、この傾向は、今後も続いていくものと思われる。(図19)

人口の推移を年齢階層別にみると、全体としては「富士山型」から「釣り鐘型」へと移行しつつあるのが、グラフでよく分かる。(図18)

特に、十五歳未満の層の人口の減少が著しく、昭和三十五年と昭和五十五年を比較すると、二千八百人余りで約五十七パーセントの減少となっている。これは、三十五年ごろの若年層の急激な転出による結果と思われるが、近年、青年のUターンなどもあり、減少率は鈍化しつつある。

図18. 年齢階層別人口の推移 (単位:人)



(資料)「統計からみた和泊町の歩み」より

表 20. 昭和 55 年国調による奄美群島の年齢構成別人口と割合

市町村名	人 口	年齢構成別人口・割合					
		15 歳未満		15 歳～64 歳		65 歳以上	
		人口	割合	人口	割合	人口	割合
名 瀬 市	49,021	13,575	27.7	30,932	63.1	4,514	9.2
大 和 村	2,509	627	25.0	1,425	59.8	457	18.2
宇 検 村	2,594	548	21.1	1,481	57.1	565	21.8
瀬 戸 内 町	14,309	3,199	22.4	8,530	59.6	2,580	18.0
住 用 村	2,113	559	26.5	1,162	54.9	392	18.6
竜 郷 町	6,136	1,421	23.2	3,673	59.8	1,042	17.0
笠 利 町	8,918	2,203	24.7	5,282	59.2	1,433	16.1
喜 界 町	11,169	2,581	23.1	6,534	58.5	2,054	18.4
徳之島町	15,553	3,951	25.4	9,347	60.1	2,255	14.5
伊 仙 町	10,318	2,498	24.2	6,146	59.6	1,674	16.2
天 城 町	8,775	2,327	26.5	5,284	60.2	1,164	13.3
和 泊 町	8,932	2,100	23.5	5,292	59.3	1,540	17.2
知 名 町	8,407	1,929	22.9	5,051	60.1	1,427	17.0
与 論 町	7,320	2,045	27.9	4,256	58.1	1,019	13.0
計	156,074	39,563	25.3	94,395	60.5	22,116	14.2

(資料) 「和泊町復興の歩み」より

表 18. 知名町との人口比較推移

(単位：人)

区分 町村名	昭和 40 年国調			昭和 45 年国調			昭和 50 年国調			昭和 55 年国調		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
和泊町	11,058	5,098	5,960	9,507	4,306	5,201	8,615	4,015	4,600	8,932	4,180	4,752
知名町	10,991	5,145	5,846	8,703	3,987	4,716	8,267	3,860	4,407	8,407	4,007	4,400
沖永良部	22,049	10,243	11,806	18,210	8,293	9,917	16,882	7,875	9,007	17,339	8,187	9,152

表 19. 知名町と世帯数比較推移

区分 町村名	昭和 40 年国調		昭和 45 年国調		昭和 50 年国調		昭和 55 年国調	
	世帯数	一世帯人員(人)	世帯数	一世帯人員(人)	世帯数	一世帯人員(人)	世帯数	一世帯人員(人)
和泊町	2,633	4.19	2,528	3.76	2,531	3.40	2,735	3.26
知名町	2,842	3.86	2,540	3.42	2,548	3.24	2,718	3.09
沖永良部	5,475	4.03	5,068	3.59	5,079	3.32	5,453	3.18

図 21. 世帯数比較推移

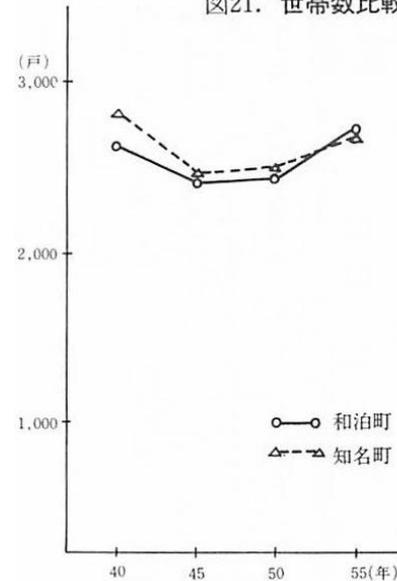


図 20. 人口比較推移

